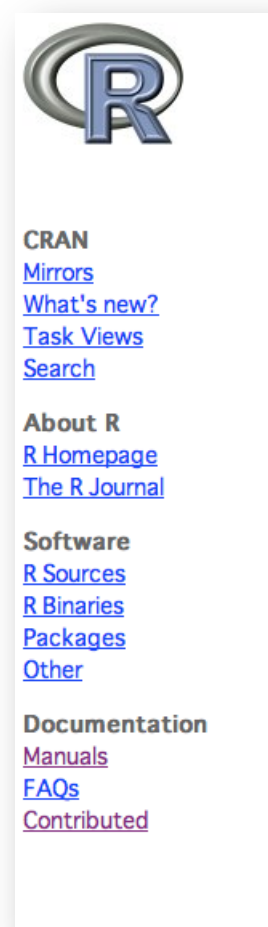


1日目：Rのインストールと起動・終了

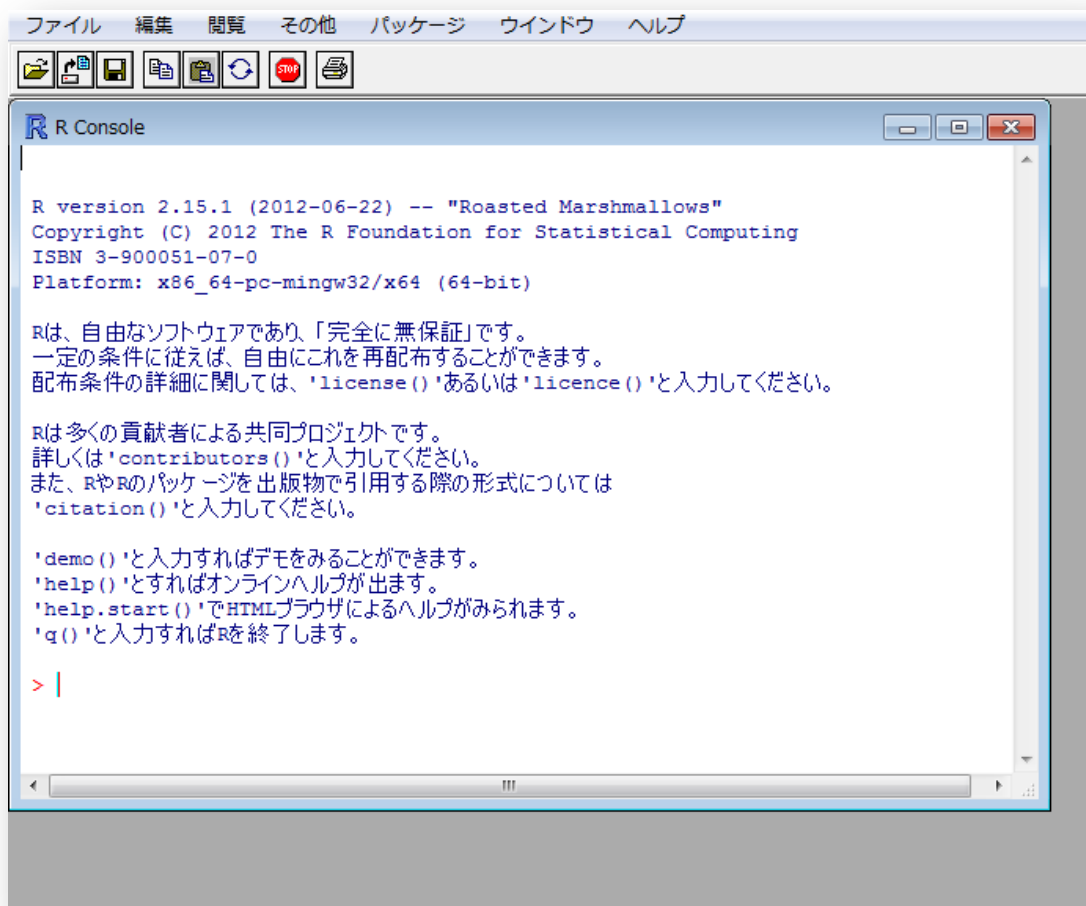
まずはRをインストールします。インストールの仕方は、GoogleやYahoo!などの検索サイトで、「R インストール」として検索すれば、かなりの数が出てきます。手抜きで申し訳ないですが、それらを参考にダウンロードとインストールをやりましょう。

なお、いずれのサイトを見ても、Rの総本山(?)であるCRANのページ(<http://cran.r-project.org/>)からダウンロードを始めるように書いてあると思います。このCRANのページを訪れたなら、同時にマニュアルもダウンロードしておきましょう。ほとんどのマニュアルは英語なのですが、日本語に訳されたものもあります。

CRANのページ左側に、右図のようなDocumentationへのリンクがあります。日本語のものは、Contributesをクリックして、「Contributed Documentation」へ進み、かなり下の方にあるJapaneseを探します。いくつかファイルへのリンクがありますが、「R Statistical Function Help Pages」からリンクされているファイルを手元に置いておくと便利だと思います。2009年と少し古いのですが、十二分に参考になります。



さて、Rをインストールできたら、起動してみましょう。



こんな画面が出てきたらOKです。これでRが起動しました。ちなみに、このウインドを「R コンソール」とよびます(書いてありますけどね…)。

終了も、他のアプリケーションと同じ要領です。メニューバーの「ファイル」→「終了」を選ぶか、R コンソールに `q()` と打ち込むか、ウインド(R コンソールのウインドでも、R 全体のウインドでも)を閉じても終了になります。

Rを終了しようとする時、「作業スペースを保存しますか?」と聞いてきますが、今回は「いいえ」を選んでおいてください。

さて、今日はここまでです。